



安全・防災設備投資

日油グループでは、安全・防災関連対策として、爆発・火災・漏洩などを含めた事故防止対策、労働安全・作業環境改善対策等の設備改善工事を計画的に進めています。また、今後発生が予想されている大地震に備え、建物の耐震補強工事も計画的に進めています。

2023年度の主な安全・防災設備投資

事業所	目的	内容
尼崎工場	台風・大雨対策 安全作業	倉庫外壁改修 墜落防止設備新設
千鳥工場	防災	消防ポンプ更新
大分工場	安全作業	作業ステージ改修
武豊工場	防災	スプリンクラー設備更新
衣浦工場	安全作業 作業環境改善	床・階段改修 スポットクーラー更新
大師工場	台風・大雨対策 防災	屋上防水改修 非常灯設備増強

※1 機能損失災害：負傷が治った時に障がい（障害等級5級以上）が残る災害

※2 休業災害：休業1日以上の災害

※3 不休業災害を含む

※4 度数率＝延べ労働損失人員／延べ実労働時間数×1000

2023年度労働災害の発生状況

2023年度 労働災害発生実績

指標	対象	2021年度	2022年度	2023年度
死亡、機能損失災害(人)※1	日油本体(日本)	0	0	0
	関係会社	0	0	0
	(内訳)			
	日本	0	0	0
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
場内協力会社	0	0	0	
死亡、機能損失災害度数率※4		0.00	0.00	0.00
休業災害(人)※2	日油本体(日本)	3	1	1
	関係会社	1	0	1
	(内訳)			
	日本	1	0	1
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
場内協力会社	1	0	1	
休業災害度数率※4		0.85	0.17	0.50
全災害(人)※3	日油本体(日本)	8	1	3
	関係会社	2	3	3
	(内訳)			
	日本	2	3	3
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
場内協力会社	2	2	2	
全災害度数率※4		2.03	1.01	1.35



注意喚起の実施

労働安全活動の一環として、RC活動を統括する設備・環境安全統括室より、定期・不定期に労働安全に関する注意喚起、安全活動に関する指示事項の通知や調査などの文書を発信し、グループ各社へ展開しています。定期的には、長期連休に対する安全・保安対策の実施、夏季の熱中症対策の徹底等、また、不定期には災害発生時や台風接近時等、必要に応じて追加の注意喚起や対策の指示等を行っています。このような注意喚起等の事項については、設備・環境安全統括室により対応状況の集約が行われ、RC監査等の機会にフィードバックを行うことで安全対策の強化、意識の向上を図っています。

災害発生時の原因究明・再発防止策の実施と情報の水平展開

労働災害が発生した箇所では、徹底した原因究明を行い、応急対策および恒久対策を計画、実行しています。これらの情報は、グループ各社へ速やかに展開し、情報共有、水平展開を図り、類似災害の防止に努めています。

また、過去に発生した労働災害を分類し、発生件数の多い分類について、特に注力した安全活動を活動目標に組み込んで展開し、再発防止、「完全ゼロ災」の達成を目指しています。2023年度は、「転倒・転落」に注目した活動に注力しましたが、残念ながら、発生した3件の休業災害はいずれも「転倒・転落」でした。この反省点を踏まえ、2024年度も「転倒・転落」災害防止への取り組みを強化していきます。

「転倒・転落」のうち、特に「転倒」については、全国的にも数多く発生する労働災害であり、高齢者でリスクが高くなっていることが知られています。そこで、日油では、高齢者の安全と健康確保に向けた取り組みも始めています。



赤十字救急法講習会(大分工場)



救命救急講習(川崎事業所)